

清流 ニュース

発行所
〒192-0904
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室

令和7年度総祈願
本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加
日親上人五ヶ年報恩御奉公・御七回忌前年の年
寺内・境内整備・有志継続・一口奉納御奉公推進
御利益談を語る信徒の育成・御講願主・御会式参詣者増加
お助行・御法門聴聞励行・御奉公内容充実・教誨一同二利益感得



九月の御総講日

一日 十時 御修行日

七日 九時半 バースデー総講

※十四日 九時半 高祖御命日

龍ノ口御法難記念

口唱会

長寿特別総講

(該当年齢75歳以上)

十七日 十時 開導御命日

門祖御命日

廿五日 十時 於 清流寺

十二日 十時 高祖御命日

十六日 十時 開導御命日

門祖御命日

廿四日 十時 日序上人御命日

於 羽村別院

特別行事

七日御総講後

清流寺防災訓練(参詣者全員)

秋季彼岸会総回向

廿三日 十時 於 清流寺

廿四日 十時 於 羽村別院

会議

一日 御総講後 役中会議

廿三日 御彼岸後 参事会

戦後八十年慰霊

講有上人より諭達発せらる

戦後八十年に際し、宗門では、戦没者慰霊の為に、講有上人より諭達が発せられ、八月十五日には、全国統一の慰霊法要言上文が宗務本庁より発せられ、当山に於ても、朝参詣に回向言上され、終日、大塔婆建立の前にて焼香をさせていただいた。

諭達

第二次世界大戦終戦八十年にあたり、所懐の一端を申し述べます。

昭和十六年十二月、日本が第二次世界大戦に参戦して勃発した所謂太平洋戦争により、昭和二十年の終戦に至るまで、数多の方々が殉難されました。

来る七月十日、本山御宝前において慰霊法要を執り行い、その諸精霊の回向をするとともに、宗門として二度と戦争に加担することのなき旨をお誓いいたします。

そもそも戦争行為は人類の飽くなき欲望の発露であり、それによって多数の犠牲者を出したことは、一宗教人として慚愧に堪えません。

私どもは、この先亡犠牲者の回向はもろろのこと、二度とこのような悲惨な戦争を起こすことのないよう、その惨状を語り継がなければなりません。

更には、高祖のまことのお弟子旦那として、その本分たる菩薩行に精進し、根本原因たる貪欲を制する心を養育するべく、尽力されることを念願し、以て諭達といたします。

令和七年七月一日

佛立第二十七世講有

日覚



終戦八十年慰霊法要 言上文

謹みて言上し奉る

去る昭和十六年十二月日本が第二次世界大戦に参戦して勃発した所謂太平洋戦争は、その後昭和二十年の終戦に至るまで数多の戦没者を出し、宗内教講の先輩諸氏も数多く殉難せられたり

今茲に本門佛立宗清流寺は弔主となり、終戦八十年慰霊法要を修し奉る本地本法の功力を以て弔う処は第二次世界大戦戦没者の諸精霊 法界群靈 離苦得益 妙法経力追善菩提

経曰 毎自作是念 以何令衆生 得入無上道 速成就佛身 於我滅度後 應受持斯經 是人於佛道 決定無有疑文 生死の長夜を照らす大光明 元品の無明を切る大利剣 妙法経力追福作善 証大菩提の為也

願くは此の功德を以て普く一切に及ぼし 世界恒久平和確立なさしめ給え 余慶を以ては 清流寺弘通発展 教誨兩務の面々 益々信心増進御奉公 成就なさしめ給へ

感応道交哀愍納受

もう一つの終戦八十年慰霊

満州開拓団 (仁義佛立開拓団)

満州開拓団とは、一九三〇年代から一九四〇年代にかけて、日本政府の満州国(現在の中国東北部)に日本人を送り込み、農業を中心とした開拓事業を行うために組織された移民団のことで、その目的

拓け満蒙！ 行け満洲へ！

資格 三十三歳以下(満蒙移住者として)
身体強健者
政府の補助 一戸に付一〇〇〇圓 其他諸費の補助あり

拓務省 移民募集

満洲農業移民募集

締切七月十五日

申請 町村役場、又は軍人分會

満洲移住協會

東京日本橋区大塚五丁目

開拓団募集のポスター

わが本門佛立宗も、関東は乗泉寺を中心とし、関西は、清風寺を中心として、佛立開拓団を結成、多くのご信者が送り込まれました。

悲劇のはじまり
一九四五年八月九日より、ソ連軍が満州へ進攻を開始すると、当時、満州を警備していた関東軍の敗退により、ソ連軍の進軍により、開拓団の危機が迫る中、八月十五日の終戦を迎えました。

すると、ソ連軍は、ますます勢力を増し、八月廿四日の夜半から廿五日の早朝にかけて開拓団に猛攻撃をかけ、関東の「仁義佛立開拓団」は全滅致しましたが、その中でも生き残りの何名かは、命からがら帰国を課し、殊に、故安田堯啓師(当山教務部所属)を中心として、「懇和会」を結成、約六〇〇霊近くを霊簿に浄書し、毎月ご命日には、御回向が修まっておりますが、現在、その霊簿が、当清流寺に格納されてお

り、一年に一度、祥月命日の八月廿四日、五日のご命日近辺の日に、清流寺教務部が全霊名を読み上げ丁寧にご回向させていたところであります。

「仁義佛立開拓団殉難者之諸精霊追善菩提」



桐箱に入った過去帳